

工業化、都市化による環境破壊

- 1) 人口の移動が起き、リヴァプール、マンチェスター、バーミンガムなどの商工業都市が発達した。
- 2) 【1: 】(18世紀以降)で土地を追い払われた農民は、農業労働者になるか産業革命で成立した機械制工場の労働者になるほかに、都市に移住することを余儀なくされた。
- 3) 労働者の多く住む居住区は不衛生だった。1860年代のリヴァプールでは幼児死亡率が50%を上回った。
- 4) ロンドンの【2: 】は17世紀に登場する。フォグ (fog、霧) とスモーク (smoke、煙) のロンドン発の合成語。1852年には亜硫酸ガスで死者1万2千人を記録。その過去100年間に10回も大スモッグを記録。18世紀末にはバーミンガムやマンチェスターでも見られた。
- 5) 18世紀まで、ロンドンでは生活排水(トイレの汚水含む)は未処理で河川に投棄され、テムズ川は猛烈な異臭を放つようになった。同じテムズ川の下流では水道水を取り入れ浄化せずに給水するという有様だった。1830年代はじめに、コレラが大流行し全国で30万人が死亡した。細菌学の権威パストゥール(1822-95)などの活躍で、これがとんでもないことであることが了知されるのは、もう少し後である。

労働者の生活

- 1) 都市の富裕な【3: 】は豊かな消費生活をおくった。
- 2) 都市の労働者の住宅は狭く、戸別の水道、トイレすらなく、1戸分の住居に数家族が生活する例すらあった。
- 3) 労働者は窓もない工場で、1日10時間を超えて労働した。
- 4) かつて職人たちは週末は酒を飲み、月曜日は事実上ほとんど仕事をしない「【4: 】」の習慣を持っていたが、工場の経営者は労働者に**労働時間の厳守**を要求した。《貧困は自己責任》、《時は金なり》(これは本来はピューリタンの教え)というイデオロギーが押しつけられた。
- 5) 土地から引き離された労働者は、食料や生活用品の自給も不可能で、生活に必要な一切の財を商品として購入する必要があり、低賃金のため家計は常に逼迫し、そのため栄養状態も悪く、感染症にも弱かった。結核は蔓延し、コレラが流行すれば死体の山ができた。

社会問題の基本

- 1) 資本主義は既に16世紀後半、イギリスの毛織物【5: 】で成立していたが、産業革命によって、工場経営者などの【6: 】の階級が成立、同時に工場や鉱山で働く【7: 】の階級が広範に成立した。
産業資本主義の成立である。
- 2) 問題の基本は、生産手段を持たない労働者は、自らの身体に備わった労働力を売る以外に生きる道はない!ということ。産業革命で【8: 】による大量生産が行われる現場では、もはや長年かかって習得するような優れた技能は必要とされず、マニュアルに従って注意力を落とさず長時間黙々と機械のように働くことが求められた。新しい分野ですばらしい機械技術が実用化されるたびに、その分野の熟練職人が失業した。また、**賃金が安い子どもや女性が雇われることも多くなり**、これはイギリスではさすがに早くから法規制の対象となった。一般論として、資本家は国家の法律や制度によって強制されない限り、できる限り低コストの悪い環境の下で、できる限り低賃金で、できるかぎり長時間、労働させる傾向がある。それは「ブラック企業」に見るように、現代でも変わっていない。

1842年の政府調査報告書より：石炭運びをしているエリソン=ジャックという11歳の少女の言。「わたしはお父さんのために3年間も地下で働いています。お父さんは朝の2時にわたしを下におろし、翌日の午後1時か2時にわたしはあがってきます。・・・(略)・・・わたしは石炭を背負って、脚立ないしはしごを4つのぼり、やっと炭鉱の端に通じている主坑道に出ます。私の仕事量は桶に4〜5杯で、桶には4と4分の1ハンドレッドウェイト(注：約216kg)はあります。わたしは20往復で桶5杯をいっぱいにします。(鈴木注：1回に50kg以上は運んでいる)命令どおりできなかった時は、むちでぶたれます・・・」この報告を受けて、1842年に鉱山法が制定され炭鉱や鉱山での子どもや女性の雇用を禁止した。

炭層に到達するための通路は採炭できるわけではないので狭いほど安上がり！その狭い通路の部分の運搬に体格の小さい子どもが使われた。当時のイラストにその様子が描かれている。資料集参照。

労働運動の発生と展開

18世紀の産業革命について述べて来たが、一貫した説明を行うため、性質上19世紀、20世紀の諸問題として別項で扱うべき内容も含めて以下に述べる。

- 1) 19世紀初頭、**産業革命の時代には労働者は人間らしい生活を営むことはできなかった**。
産業革命期に起きた次の2つの事件は**入試頻出**である。丸暗記せよ。
 - ①1811〜17年頃 イングランド中・北部の繊維工業地帯でおこった**機械打ち壊し運動**を【9: 】という。ラッドは伝説上の人物である。
失業した靴下編み工が夜間覆面をして工場に侵入、繊維工業機械を破壊した。
1812年、政府は弾圧法をつくり、絞首刑、流刑を含む大量処刑を行ったので鎮圧された。
 - ②1819年 マンチェスターで、**穀物法廃止と普通選挙権**を求めて聖ピータ広場に集まった8万人の労働者に地元の軍隊が発砲し、死者11名、負傷者多数を出した事件を【10: 】という。「**ピータールーの大虐殺**」ともいう。
- 2) 【11: 】を結成するだけで違法だった！
1799/1800年 【12: 】制定・・・労働者の団結を内乱罪に準じて禁止。
1824年 **団結禁止法廃止** 労働組合も実質的に合法化された。

1871年 労働組合法制定 **労働組合に法的地位を認めた!**

1906年 労働争議法 **ストライキ権が認められた。13W**

3) いわゆる一連の工場法が制定された。1833年のものが最も有名。

1802年 徒弟法

1819年 工場法 ← **オーウェン**1771-1858らの働きかけ。ただし実効性なし! 卿を拡大すると→

1833年 工場法 (一般工場法) ← **オーウェン、シャプツベリー卿** (爵位をもつ人への敬称) らの働きかけ。
18歳未満の夜間就労禁止、13歳未満の9時間労働、18歳以下の12時間労働、工場監督官制。

1844年 工場法 8~12歳の6.5時間労働、女性の10時間労働

1847年 工場法 女性・子どもの12時間労働

4) 1838年 「【13: 】」 People's Charter 発表

書かれたのは1837年。1839年、議会に提出されたが否決された!

《人民憲章》の中身: 男性普通選挙、無記名秘密投票、議員の財産資格廃止、議員有給制、均等選挙区制、議会の毎年改選 **女性の普通選挙は含まれていないことに注意せよ** (これを問う出題例あり)

1837年ごろ~48年ごろ男性普通選挙の実現などをめざす【14: 】が行われた。これは人類史上最初の**労働者階級による組織的政治運動**である。

1839、1842、1848年に国会請願、デモ、ストライキなど実施。

1848年の大集会 (←フランス二月革命) で最高潮。弾圧と好況で衰退。

5) 社会主義思想の登場 資本主義そのものを批判し、理想社会の実現をめざす思想も登場した。

① **サン=シモン** 仏 1760-1825 アメリカ独立戦争に**義勇兵**として従軍

労使の対立を重視せず人の能力が自由に発揮できる産業社会の実現を夢見た。

② **ロバート=オーウェン** 英1771-1858 紡績工場の経営者

単なる利潤追求を否定し、環境の改善による人間性の改善を確信して自己の工場労働者の福祉向上に努めた。ニューラナークに**理想的な工場都市のモデル**を作り、経営的にも成功した。大人のための夜間学校も設置。

ニューラナークはスコットランドの地名である。

1825-58年、**アメリカで理想的共同社会ニューハーモニー村の建設を試みたが失敗**。その後、**工場法の制定、労働組合や共同組合の育成に尽力した**。

③ **フーリエ** 仏 1772-1837 資本主義社会を批判し**共同組合的理想社会 (ファランジュ)** の実現を主張した。

④ **プルドン** 仏 1809-65 無政府主義者 「財産、それは窃盗である」

⑤ **ルイ=ブラン** 仏1811-82 **二月革命を指導、国立作業場の設立に努める**。

⑥ 【15: 】独1818-83 哲学者、経済学者 『資本論』の著者

資本主義社会の本質を鋭く解明し、社会主義社会への移行の必然性を説く。

⑦ 【16: 】独1820-95 小企業経営者。マルクスを物心ともに支えた盟友。統計学者「エンゲル」は別人

6) **マルクス、エンゲルスは、1848年2月末に『共産党宣言』を発表した**。(二月革命と同じ月)

『共産党宣言』抜粋: [冒頭部分は有名] 一つの妖怪がヨーロッパにあらわれている — 共産主義の妖怪が。旧ヨーロッパのあらゆる権力が、この妖怪にたいする神聖な討伐の同盟をむすんでいる。 / [核心的部分] ……今日までのすべての社会の歴史は階級闘争の歴史である。… (略) ……抑圧者と被抑圧者は常にたがいに敵対し、ときにはひそかに、ときには公然と、たえず闘争を続けてきた。… (略) ……しかし、ブルジョワ階級の時代である我々の時代は、階級闘争を単純化したという特色をもっている。全社会はしだいに敵対する二大陣営、直接に対立する二大階級、すなわちブルジョワ階級とプロレタリア階級に分かれてゆく。… [末文] **プロレタリアはこの革命において鉄鎖のほかには失う何ものをも持たない**。彼らが獲得するものは世界である。**万国の労働者、団結せよ**。 / [注釈] 『万国の労働者、団結せよ』とは、労働者のよりよい生活を要求する運動が他民族排除に向かうことを懸念し労働者の国際的団結が社会主義実現への道を開くと訴えたものと解釈されている。**労働者の運動は社会主義という理論的な支柱を得た**。

1864年、労働者の国際連帯を訴える**第一インターナショナルがロンドンに創立**され、マルクスがその指導者となった。09Wバクーニンら無政府主義者との対立やパリ=コミューン後の弾圧の激化で、1876年に解散したが、黎明期の労働運動は社会主義思想と密接不離だった。現代では労働組合は政党や特定の思想から独立しているのが常識とされる。

7) 「空想的社会主義」 エンゲルスは、上の社会主義者①②③⑤たちのように人道主義的立場から社会主義を説き理想社会のヴィジョンを創造したが、実現方法として階級闘争の視点を持たない社会主義思想を【17: 】 (utopian socialism) と命名して批判し、エンゲルス自身とマルクスの社会主義思想を**科学的社會主義**と称した。エンゲルスは、

社会主義の入門書『空想から科学への社会主義の発展』(1880年)において空想的社会主義について詳しく書いている。

8) **社会民主主義**という非常にやっかいな用語がある。最も古くは19世紀末のヨーロッパにおいて、マルクス主義にもとづく社会主義が社会民主主義と呼ばれ、ロシアの革命政党は「ロシア社会民主労働党」を名乗った。ロシア革命後、共産党となったポリシェヴィキ (ロシア語で「多数派」) は、議会を通じて社会変革をめざす運動を否定的な意味で社会民主主義と蔑んだ。

19世紀末にドイツでは、資本主義の崩壊と革命という革命主義的な側面が不要になったことを主張する修正主義が唱えられたが、これは革命主義的マルクス主義者との思想闘争に敗北して日の目を見ることはなかった。この他、イギリスにはフェビアン協会など社会改良主義の流れを汲む英国社会主義の流れもあり、フランスやイタリアでは労働組合を中心に社会を運営することを主張するサンディカリズム (サンディカはフランス語で「組合」) が強かった。

1914年の第一次世界大戦勃発と各国の社会民主党が自国の戦時体制を支持したことによる第二インターナショナルの崩壊後、各国の社会民主党から左派が分離し、ロシア十月革命の影響によって新たに共産党を名乗る一方、右派は引き続き社会民主党を名乗った。第一次世界大戦後は、修正主義、民主社会主義、社会改良主義の流れを汲むものが「社会民主主義」と呼ばれるようになり、革命主義的マルクス主義としての「共産主義」と対比されるようになった。

